

事業運営進行表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

●事業運営進行表は、事業会計における予算執行等の概況を示すものです。

営業所名 鎌倉水道営業所

I 事業の概要

鎌倉水道営業所では、所管区域内における送水、配水設備の工事及び維持管理を行うとともに、水道料金・水道利用加入金等の事業収入及び公共下水道使用料の徴収、給水関係工事の施工並びに量水器の点検等の事務を行っています。

II 収支の状況

(単位：円)

予 算 科 目	年 間 計 画 額	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	累 計
水道事業収益	5,004,896,000	1,274,779,454	1,321,623,243	1,238,914,853	1,231,612,911	5,066,930,461
営業収益	4,846,536,000	1,233,851,162	1,273,140,872	1,192,237,504	1,170,844,002	4,870,073,540
給水収益	4,795,236,000	1,203,112,975	1,260,947,834	1,179,271,605	1,168,649,121	4,811,981,535
給水装置工事収益	43,222,000	24,686,027	11,907,019	11,345,468	△947,929	46,990,585
その他営業収益	8,078,000	6,052,160	286,019	1,620,431	3,142,810	11,101,420
営業外収益	158,360,000	40,928,292	48,482,371	46,677,349	60,283,611	196,371,623
水道利用加入金	140,778,000	35,872,200	44,733,600	41,931,000	54,599,400	177,136,200
受取利息	0	0	0	0	0	0
一般会計からの補助金	0	0	0	0	0	0
長期前受金戻入	0	0	0	0	0	0
雑収益	17,582,000	5,056,092	3,748,771	4,746,349	5,684,211	19,235,423
特別利益	0	0	0	0	485,298	485,298
特別利益	0	0	0	0	485,298	485,298
水道事業費用	1,077,727,536	185,523,546	267,357,150	316,759,079	330,406,739	1,100,046,514
営業費用	1,077,036,536	184,338,854	267,281,910	316,735,639	330,156,393	1,098,512,796
職員費	355,517,536	83,096,018	73,407,333	110,255,698	69,541,951	336,301,000
原水及び浄水費	0	0	0	0	0	0
配水費	251,008,000	29,376,501	67,404,534	55,607,257	82,981,649	235,369,941
給水費	432,739,000	68,717,903	121,291,924	139,105,662	164,627,980	493,743,469
給水装置工事費	1,171,000	148,952	213,717	142,976	196,793	702,438
業務費	21,794,000	2,994,980	3,979,449	7,591,609	4,889,639	19,455,677
総係費	139,000	4,500	44,064	0	0	48,564
減価償却費	0	0	0	0	0	0
資産減耗費	14,668,000	0	940,889	4,032,437	7,918,381	12,891,707
営業外費用	691,000	1,184,692	75,240	23,440	250,346	1,533,718
支払利息	0	0	0	0	0	0
繰延勘定償却費	0	0	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0	0	0
消費税及び地方消費税	0	0	0	0	0	0
雑支出	651,000	1,184,692	75,240	23,440	210,415	1,493,787
貸倒引当金繰入額	40,000	0	0	0	39,931	39,931
特別損失	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
水道事業収益－水道事業費用	3,927,168,464	1,089,255,908	1,054,266,093	922,155,774	901,206,172	3,966,883,947

※ 職員費の一部については、企業庁が実施する各事業に共通する費用として一括して執行を行っており、各事業の当初予算額比率で執行額を按分した金額を含んでいます。

※ 水道事業収益と水道事業費用の差額は、利益の額と一致しません。

(単位：円)

予 算 科 目	年間計画額	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	累 計
資本的収入	4,837,000	0	0	4,570,912	3,571,980	8,142,892
企業債	0	0	0	0	0	0
企業債	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金	0	0	0	0	0	0
固定資産売却代	0	0	0	0	0	0
固定資産売却代	0	0	0	0	0	0
貯蔵品売却代	0	0	0	0	0	0
貯蔵品売却代	0	0	0	0	0	0
分担金及び負担金	4,837,000	0	0	4,570,912	3,571,980	8,142,892
分担金及び負担金	4,837,000	0	0	4,570,912	3,571,980	8,142,892
雑収入	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0
資本的支出	1,373,604,374	89,267,160	263,627,040	287,407,320	311,876,318	952,177,838
一般建設改良費	1,373,604,374	89,267,160	263,627,040	287,407,320	311,876,318	952,177,838
原水及び浄水設備整備費	0	0	0	0	0	0
配水設備整備費	1,371,292,374	88,867,560	262,827,840	287,407,320	311,876,318	950,979,038
業務設備整備費	2,312,000	399,600	799,200	0	0	1,198,800
大口径老朽管更新事業費	0	0	0	0	0	0
水道施設相互融通化整備事業費	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金償還金	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金償還金	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
資本的収入－資本的支出	△1,368,767,374	△89,267,160	△263,627,040	△282,836,408	△308,304,338	△944,034,946

※ 大口径老朽管更新事業費、水道施設相互融通化整備事業費の一部については、企業庁が実施する各事業に共通する費用として一括して執行を行っており、各事業の当初予算額比率で執行額を按分した金額を含んでいます。

### Ⅲ 職員配置状況

職員配置状況	区分	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日
	常勤職員	37	37	37	37
臨時的任用職員	0	0	0	0	
再任用職員	5	5	5	5	
非常勤職員	6	5	5	5	
計(人)	48	47	47	47	

### Ⅳ 事業実施状況

項 目	年間計画	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	累 計
水道料金調定件数(件)	772,159	194,643	191,700	195,558	193,061	774,962
水道利用加入金調定件数(件)	970	255	324	309	373	1,261
配水管布設・改良工事完成件数(件)	27	0	4	9	12	25

○各項目の実施状況は、執行伺いベースで記載。

### Ⅴ 事業運営に関する評価

鎌倉水道営業所長評価	第 1 ・ 四 半 期	給水収益(水道料金)及び水道利用加入金の調定額は、第 1 四半期の計画額を上回って推移している。また、配水管工事については、概ね計画通り発注を行っており、安定給水に向けた事業推進を図っている。
	第 2 ・ 四 半 期	給水収益(水道料金)の調定額は、第 2 四半期の計画額を下回って推移しているが、水道利用加入金の調定額は、計画額を上回って推移している。また、配水管工事については、概ね計画通り発注を行っており、安定給水に向けた事業推進を図っている。
	第 3 ・ 四 半 期	給水収益(水道料金)及び水道利用加入金の調定額は、第 3 四半期の計画額を上回って推移している。また、配水管工事については、概ね計画通り発注を行っており、安定給水に向けた事業推進を図っている。
	第 4 ・ 四 半 期	給水収益(水道料金)の調定額は、第 4 四半期の計画額を下回って推移しているが、水道利用加入金の調定額は、計画額を上回って推移している。また、配水管工事については、概ね計画通り発注を行っており、安定給水に向けた事業推進を図っている。
	総合評価	給水収益(水道料金)及び水道利用加入金の調定額は、年間計画額を上回り、事業収益全体でも年間計画額を上回る結果となった。また、配水管工事については、計画外の工事も適宜実施し、安定給水に向けた事業推進に努めた。